



JFRL

ビジュアルアナライザーによる外観の評価

ビジュアルアナライザーとは

食品などの複雑かつ不均一なサンプル表面の外観(色・形・大きさ)を数値化する装置です。サンプルを撮影し、サンプル表面の色や大きさのばらつき等を解析します。人が目で見て感じるように、色・形・大きさを数値化できることが特徴です。

- 品種間や等級間の差別化
- 賞味期限等の設定
- 熟成度の評価
- 品質管理

サンプルの品種・等級による色や形の違いや経時的な色の変化を数値化することが可能です。

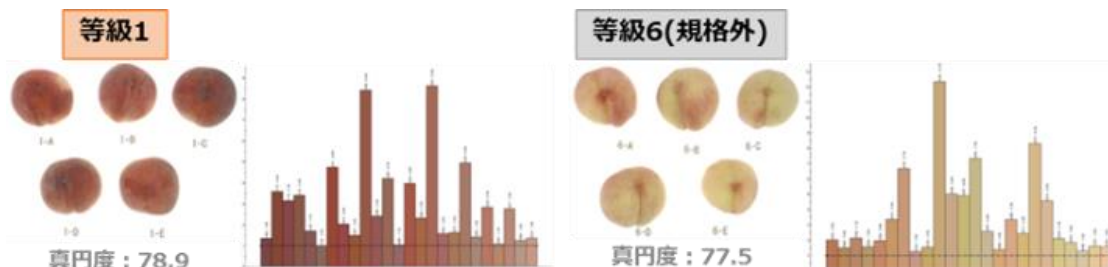


ビジュアルアナライザー IRIS VA400
[アルファ・モス・ジャパン株式会社]

評価のイメージ

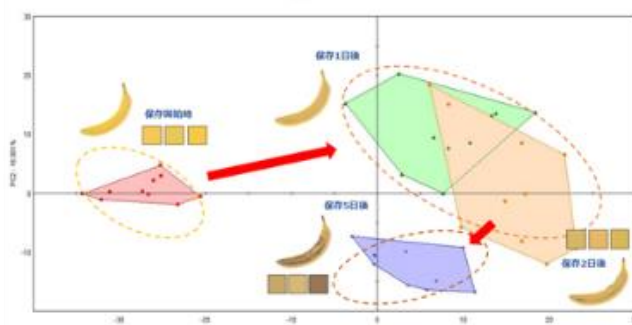
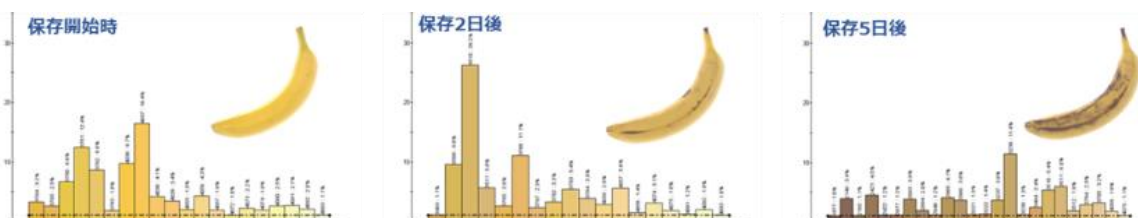
例1) 桃の評価例

異なる等級の桃の外観の色・形の比較



例2) バナナ例

保存期間による外観の色の経時変化を数値化



最後に

- ・受託は2サンプル以上の比較試験にて評価を行います。
 - ・サンプルは生鮮食品(野菜・果物・肉・魚等)・加工食品等の食品、ペットフード等承ります。
- ご依頼目的により、試験設計について調整させていただきます。お気軽にご相談下さい。

問い合わせ先

一般財団法人 日本食品分析センター 名古屋支所 生化学分析課 二次機能担当者

TEL (052) 261-8652

FAX (052) 261-8659

E-Mail na4amikaku@jfrl.or.jp